

III. 教養部自治会の成功で

教養部の勉学・衛生施設の改善を、11月祭の成功を。

奨学金制度改悪・学費値上げ・大軍拡臨調阻止。

京都府の非核地帯宣言を実現しよう。

教養部自治会の民主的強化を達成せよ。

一九六二年一〇月二日

教養部自治会常任委員会

軍國主義復活阻止、要求実現のために
教養部自治会の民主的強化・発展を

『学生生活をめぐる三つの危機』

より豊かな学生生活を願う私たちに対し
て、以下の三つ々危機が進行しています。

第一には、U-16ミズ基地配備の計画に示
されている様に、アメリカの限定核戦争に
日本が巻き込まれる危険が増大し、学生が
再び侵略の統をとらされようとしています。

第二には、大軍拡のしらさせが学生生活
に及ぼされいることです。学費値上げや

奨学金制度の改悪が始め、勉学厚生条件

さえ困難にはなっています。

第三には、改憲を軸点にした一連の反動
攻勢（参院全国区制改悪や教科書問題等）

、医師問題第一、地方の自治や民主主
義のものが大きな危機に面しています。

『計されぬ大學当局の姿勢』

こうした反動的・反国民的な政策と同時に、
私たちの要求を阻害するものに、學生の自
治・権利を後退させる当局の姿勢があります
。一年年の教育学部に統括経済学部でも
、学部長選の改選が行われようとしています。

教養部においては、教養部自治会を公認し

なればかりか、自主的な活動を援助せず、

学生の切実な要求である勉学厚生施設の改

善すら怠り、こいつと言ひざるを得ません。

『教養部自治会の発展強化は急務』

こうした状況の下、教養部の貧困化施設
の改善をはじめとした要求を実現していく
団結の要として、また、反動攻勢を打ち破
る金銭的、全国的運動に合流していく要とな
して教養部自治会の民主的発展強化は急務
の課題です。

書からこの間の運動の到達

10.27統一行動に向けて10クラス近くで學
習会討論が行われ、集会にも教養生約80名
が参加し大きく成功しました。（全京大集会
600名、全京都学生集会1,500名、京都集会800名）

これは、11月の日に行けた映画上映や演説
会・署名運動の成果であり、今後の運動へと
つながるものです。また、学内諸階
層、他団体との連帯した運動（例えば、京
都の非核地帯化を進める運動）が、前進して
いるところに、反動攻勢を打ち破る展望

があります。

学内の勉強、厚生条件の改善の運動も、前期内のアンケートや署名の成果もあり、夏休みの図書館開館や自転車道場の整備などが実現されています。また、12年間の運動の成果として吉田厚生センターの多算化が実現しています。しかし、まだまだ貧困は施政であり、今までの運動の水準を大幅に引き上げていくことと、教養部自治会の公認化が必要となり、できています。

11・11自治委員会の果たすべき

4つの重要な意義

(※題)「要求と方針」を確立し、要求実現の節に、11月祭をはじめとするクラス活動を交流し、

大学生協連、日教組大学部等の全国統一行動に合流していくために、11月11日に自治委員会を開催します。この11・11自治委員会は、以下の大きく四つの意義があります。

第一に、学内の勉学厚生条件の改善、クラス活動への物品支給の実現求める教養生

行動提起

- ① 「要求と方針」(案)の論議を行おう／アンケートにとりくもう／
- ② 核・安保・臨調 etc.について学習を行おう、
- ③ 非核地帯化を求める運動を進めよう、
- ④ 決議を集中しよう ⑤署名を集めよう、
- ⑥ 全連連「世直し署名」を集めよう、
- ⑦ クラス活動への物品支給を求める決議など、クラス要求決議を上げよう、
- ⑧ 11月祭を中心にクラス活動を前途させよう、
- ⑨ 自主セミ運動を進めよう、
- ⑩ 全てのクラスを自治委員会に提出しよう、



の要求集約と、自主セミ活動や11月祭に向けたクラス活動の交流を行います。

第二には、大連連の「世直し署名」がや獎学金制度改悪をはじめとした学生生活・国民生活へ押しつける醜態路線反対の運動の節とすることです。とりわけ、11・11全国統一行動を京大教養部からいかに組織していくか決定していくことです。

第三には、核兵器完全禁止を求める草の根運動をさらに広げ交渉を行なうことと、京都府の非核地帯宣言を実現する運動の集約を行い、12月府議会に向け要請していくことをです。

第四には、以上3つの意義を果たしていく為にも、教養部自治会の民主的強化を充実化に向けて大きな一步とすることです。大学の自治への攻撃が強まる今日、この第四の意義は重要になります。

以上4つの意義は重複します、という今日、クラスからの運動を成功させましょう！